

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一宮商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考			
				目標①		目標②		得られた効果	A B C D 評価					目標①			目標②		
				指標	達成度	指標	達成度		自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	自己評価			満足度	補足	目標①
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模企業を中心に、経営指導員等商工会職員が巡回及び窓口にて事業者の経営、労務等の相談対応し、経営及び技術の改善を図り、経営課題の解決に繋がる支援を行う。	1. 巡回窓口指導延件数 426件 (内非会員 6件) 2. 巡回窓口指導実企業数 104件 (内非会員 3件) 3. 課題解決提案件数 11件 4. 経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 125.3%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 55.0%)	得られた効果	巡回窓口指導については専門家を活用するなどして内容の濃い支援を実施し、課題解決提案については提案に繋がるような支援を心掛け、前年度よりも件数を増やすことができた。	総合評価	B	自己評価	B	満足度	A	補足	目標①	目標②	課題解決提案件数および経営革新承認件数が伸びないため、まずは課題解決提案に繋がるような支援方法を模索する。
記帳継続指導	商工会職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結びつける。	1. 指導対象事業所数 33件 2. 指導日数 234日 3. 指導回数 498回	小規模事業者	指標	指導対象者数 (人) (達成度 97.1%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	記帳方法の指導、決算・確定申告の指導により適正な税務申告と計数管理による経営状況の把握に繋げる。	総合評価	B	自己評価	B	満足度	A	補足	目標①	目標②	引き続き適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を図る。
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営分析、事業計画策定等の知識習得や自治的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	1. 集団講習会 ①実施回数 4回 ②参加者数 59人 2. 個別講習会 ①実施回数 11回 ②参加者数 69人	小規模事業者	指標	指導回数 (回) (達成度 88.2%)	指標	参加者数 (人) (達成度 105.8%)	得られた効果	経営発達支援計画事業の講習会について、講師および内容を見直したところ、例年よりも参加者数が増加し、目標値を達成できた。	総合評価	B	自己評価	B	満足度	A	補足	目標①	目標②	引き続き受講者数増加を目指し、講習会内容を模索していく。
青年部・女性部事業	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商工業者に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。	1. 青年部活動 ①加入者数 14人 ②参加者数 103人 ・会議 80人 ・事業 80人 2. 女性部活動 ①加入者数 21人 ②参加者数 23人 ・会議 80人 ・事業 80人	小規模事業者	指標	加入者数 (人) (達成度 102.9%)	指標	事業等参加者数 (人) (達成度 130.0%)	得られた効果	加入者数が増えたことにより参加者数も増加し、目標の通り進めることができた。	総合評価	A	自己評価	A	満足度	A	補足	目標①	目標②	積極的な加入動向により、廃業や高齢による脱会者等がある中でも、目標数値を上回ることができた。
地域振興まつり事業	本宮まつりを開催することにより、その集客力を活かして地域店並びに商品の知名度の向上に務め地域観光資源（本宮の湯、砥鹿神社など）PRの機会とするとともに、地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	1. 本宮まつり開催日：11月2日（日） 地域活性化促進及び地域物産PR活動、集客イベント等を実施。 ・ 出店件数 27件	小規模事業者	指標	出店事業所数 (件) (本宮まつり) (達成度 158.8%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	東三河支部、新城設楽支部等広域商工会及び東三河だいたすキッチンカーズを活用して出店事業者増加に繋げることができた。	総合評価	A	自己評価	A	満足度	B	補足	目標①	目標②	集客が例年よりにぎわいを感じたが13:00以降徐々に目減りしてきたので来場者の滞留時間を増やすための工夫が必要。
産業活性化事業	商業部会年末大売出しなど、地域の特性を活かした地域資源の活用や、特産品の開発普及・PRなどを行い、また、企業の実業の発展及び地域産業の活性化に資することを目的とする。	1. 歳末大感謝祭 ①実施日 12月6日～12月21日 ②参加店舗数 36店舗 ③三角くじ販売セット数 117セット	小規模事業者	指標	参加店舗数 (店舗) (達成度 97.3%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	前年同様、小委員会を4月から行い、実施内容を練り直し、非会員を含め周知、役員により巡回依頼した。昨年より1件減少したが、新規の事業所の参加を得た。	総合評価	B	自己評価	A	満足度	B	補足	目標①	目標②	令和7年度事業内容を検討し、委員会を模索する。
情報化推進事業	情報通信技術を活用して、会員に有益な情報を提供し、ビジネスチャンスの拡大や経営の質を高めるための取組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	1. ホームページ (情報提供) 一宮商工会ホームページによる小規模事業者、地域住民への情報提供 一宮商工会HP更新回数 92回	小規模事業者	指標	一宮商工会HPの更新回数 (回) (達成度 92.0%)	指標	(達成度 %)	得られた効果	HPのみでなく公式LINEや公式インスタグラムにおいても新しい情報へ随時更新ができた。	総合評価	B	自己評価	B	満足度	B	補足	目標①	目標②	新情報を随時更新していくと同時にスマホ閲覧時のレイアウトを見やすく改善する必要がある。

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 一宮商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等		備考				
				指標	実績	達成度	指標	実績	達成度		総合評価	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①		目標②			
労働保険事業	事業主の委託を受けて、労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種届出等の事務手続きを行うことで、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適正徴収を図ることを目的とする。	1. 事務委託事業所数 31件	小規模事業者	指標	事務委託事業所数（件） （達成度 103.3 %）			指標	（達成度 %）			労働保険の適正な事務処理ができた。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	現行どおり進めていく。
目標数値	30	実績数値	31	目標数値		実績数値										A		B		上げる		
経営強化事業（一宮経済同友会）	講演会、異業種交流を兼ねた懇談会を実施し、各企業の経営基盤の強化、ビジネスチャンスの創生により、地域商工業の発展に寄与することを目的とする。	1. 加入者数 30人 2. 役員会議他 ①会議実施回数 6回 ②参加者数 ・会議 58人 ・事業 96人	小規模事業者	指標	加入者数（人） （達成度 96.8 %）			指標	事業等参加者数（人） （達成度 96.3 %）			止むおえない事情で、加入者数、事業等参加者数が、目標値を減少した。	総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	加入者数は実績に合わせ、現行どおり進めていく。
目標数値	31	実績数値	30	目標数値	160	実績数値	154													B	B	
産業団体事業（一宮飲食店組合）	各種団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより商工業の活性化に資することを目的とする。	1. 産業団体加入事業所数 飲食店組合 加入者数 36人	小規模事業者	指標	加入者数（人） （達成度 105.9 %）			指標	（達成度 %）			産業団体を支援することにより組織の活性化に繋がった。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	目標値を実績に合わせ、事業を進める。
目標数値	34	実績数値	36	目標数値		実績数値														A	B	
若手後継者育成セミナー	現在、青年部員の数は横ばいを推移し活動を進めていくのが難しくなっている。経営者となる若手後継者及び若手経営者がこのような状況下でも今後変化が加速する経営環境に迅速に対応する必要がある。そのために本事業を活用し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための勉強会を開催することで、若手後継者、若手経営者のレベルアップを目的とする。	1. 若手後継者育成セミナー「生成AI活用の実用化講座」 ①実施回数 1回 ②参加者数 14人	小規模事業者	指標	セミナー参加者数（人） （達成度 280.0 %）			指標	セミナー参加者満足度（%） （達成度 125.0 %）			働き方の未来を創る生成AIの活用方法についてセミナーを開催し、最新情報および活用のポイントを学ぶことで知識習得と資質向上を図った。生成AIについて、実際のツールを使って事例をもとに活用方法や応用策を学習し、今後の経営への一助になったと考えられる。	総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	次年度も現行どおり進め、若手後継者等の支援を行っていく。
目標数値	5	実績数値	14	目標数値	80	実績数値	100													A	A	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。